

議 会  
だより

# あしや

町

NO. 192

平成 29 年 2 月 15 日発行  
福岡県芦屋町議会



もくじ

12 月定例会

- 臨時福祉給付金を追加支給 P 3 ~
- 平成 29 年の抱負 P 6 ~
- 8 人が町政を問う (一般質問) P 8 ~
- 町かどインタビュー P 18

ボートレース芦屋  
芦屋地元レーサー  
川上選手、郷原選手  
(平成 29 年 1 月 4 日撮影)

## 12月定例会（12月1日～13日）

第4回定例会が、平成28年12月1日から13日までの13日間の会期で開催されました。2、5日に行われた一般質問では、8人の議員が登壇しました。

条例、補正予算など9議案が上程され、意見書を除く全ての議案が可決されました。なお、意見書は審査不十分のため継続審査となりました。

### 農業委員会の委員候補選考委員会設置条例

（賛成多数・可決）

## 農業委員の選出 公選制から町長の任命制に

### 質疑

**問** 選挙から町長の任命制に変更した経緯

**答** 農地利用の適正化

の推進が任意業務から必須業務に変更。農業をリードする担い手が確実に農業委員に就任する。

**問** 新制度による農業委員会はいつからか。

**答** 現委員の任期が29年7月までとなっており、その後新制度が適用される。

### 農業委員会委員の定数に関する条例

（賛成多数・可決）

議会及び農協からの推薦による農業委員が廃止され、委員の定数

が9人から8人に削減されます。

### 反対討論

#### 農業つぶしにつながる

川上誠一議員

農業委員の任命制や削減は「農業つぶし」につながる。委員を選挙で選ぶことは「農家の代表」を選ぶ基本的な制度であり、農村からは「不都合」と言う声はなく、維持が強く求められていた。これを無視することは民主主義の後退である。

法改正は「家族農業」中心の農業から競争力強化をはじめとする規制改革を推進する「農業つぶしの農政」ではない。

### 賛成討論

#### 法律改正によるもの

松岡泉議員

内容的にも適正に事務処理されている。

この条例は「農業委員会等に関する法律」が改正されたことにより制定されるもので、



芦屋町の農業を担う若手農業者たち

# 補正 予算

## 臨時福祉給付金を追加支給

支給対象者：28年度の住民税非課税者

※課税者の扶養親族や生活保護受給者は除く

支給額：1人 15000円

一般会計補正予算 2億5500万円増額

### 歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
臨時福祉給付金の給付事業費 (消費税の引き上げ(8%→10%)による影響緩和)	5400万円
汐入川改修県事業負担金(第1期・第2期)	2280万円
夏井ヶ浜海岸崩落防止工事県事業負担金	300万円
老朽危険家屋等解体補助金	150万円
中古住宅解体後の新築住宅建築補助金	80万円

歳入では、国の補正予算による臨時福祉給付金事業補助金6300万円や学校改善交付金3800万円、財政調整基金繰入金3300万円を増額措置しています。また、歳出では、国の補正予算による臨時福祉給付金の給付事業費5400万円、芦屋中学校プール改築事業費、汐入川改修県事業負担金2280万円等を増額計上し、総額2億5500万円の増額補正です。

(満場一致・可決)

**平成28年度一般会計補正予算(第3号)**  
(満場一致・可決)

### 質疑

**臨時福祉給付金を追加支給**

**問** 今回の臨時福祉給付金の内容は。

**答** 支給対象者は生活保護者や課税者からの扶養者を除いた28年度の住民税非課税世帯で、約3600人を予定している。29年4月から32年9月までの2年6カ月分の15000円を一括支給する。支給開始は、29年4月からの予定。

**松くい虫防除委託**

**問** 松枯れ対策は、植樹や航空防除、伐倒駆除を行っているが、樹幹注入を行うほうが経費の面からも効果的ではないか。

**答** 松くい虫防除は、国からの補助を受けているので、総合的な判断が必要。

**芦屋中学校プール改築事業**

**問** 中学校プールは50メートルが一般的ではないか。

**答** 全国の学校施設では25メートルが一般的である。

**問** 完成予定は。

**答** 30年3月末の予定である。

**問** プールの水を抜く時に水難事故が発生しているが、その対策は。

**答** 実施計画の段階で業者と十分協議を行う。



白浜保安林で行われた松の植樹 (H 28.10.21)

平成28年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)

(賛成多数・可決)

下水道事業の北九州市との広域連携等に係る事前調査を行うため400万円を増額補正しています。

質疑

問 調査の目的及び内容は。

答 下水道事業の北九州市との広域化の検討に向けた事前調査を行う。内容は下水道事業を町単独で行う場合と北九州市と接続した場合の経済性など総合的な評価を行う。

問 効率的な事業実施が図られなければ調査だけで終わるのか。  
答 調査の結果次第。

問 北九州市の下水道事業の収支は。

答 26年度は赤字であるが、27年度は黒字だった。

また、中期経営計画(28〜32年度)では下水道使用料の値上げをしないことが明記してある。

反対討論

北九州市にとって、メリットがあるのか

田島憲道議員

この調査は、今のまま町単独か北九州市と接続した場合、どちらが効率的か判断することだ。その委員会審議の中で、市の下水道事業も赤字と分かった。また市の「公共施設のマネジメント実行計画」でも、今後40年、1兆2000億円の建て替えやメンテナンス費用がかかり、市営住



老朽化が進む中ノ浜ポンプ場

賛成討論

良し悪しを判断するために必要な調査

内海猛年議員

宅を1万戸減や、学校の統廃合等、さらなるコストカットに臨む。こちらが赤字だからと、向こうに押し付けるのではなく、北九州市にも、メリットがなければ受け入れできない。

公共下水道事業は供用開始から30年が経過し、下水道管等の改修工事費は毎年4000万円程度必要である。老朽化が進めば、工事費はますます増加していく。また、

人口の減少により収入も減少傾向にある。

下水道事業の健全経営を考えたとき北九州市との統合を視野に入れた中で、芦屋町にとって良し悪しを判断するための事前調査は必要と考える。

町民への負担を強いる事態回避せよ

辻本一夫議員

将来にわたって効率的、継続的な下水道事業の運営を行う手法・方向性を見出すための調査費である。料金値上げで増収は図られたが、8億円超の累積欠損はさらに膨れ上がる予測だ。経年劣化に伴う下水道管の入れ替え工事、処理場施設の更新に莫大な費用を要する時期が来るが、町民に大きな負担を強いる事態は避けねばならない。

意見書

地方議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

(注1) 継続審査

地方議会議員の年金制度を時代にふさわしいものにするこ とが、国民の幅広い政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備の早急な実現を求める意見書です。  
※審査不十分のため継続審査となりました。

※注1：継続審査  
会期中に議決に至らなかった議案を閉会中に審査を継続させること。

# 契 約

## タウンバス中型車両 購入契約の締結

(賛成多数・可決)

タウンバスは現在小型車両(31人乗り)を3台所有しているが、9年を経過しており、故障等の対応及び増客を図るための中型車両(57人乗り)の購入契約です。

### 【契約金額】

約2390万円

### 【受注者】

九州日野自動車(株)

## 質 疑

**問** 入札参加3者の内2者が辞退されているが事前に辞退したのか。

**答** 入札を事前に書面として記したものをその場で提出された。

**問** 辞退届は入札前に事前に提出された。  
**答** 辞退届は入札前に事前に提出された。

**問** 予定価格が221万9000円で入札価格と比較したら12万円くらいしか差がない。入札現場で数字を記したのか。

**答** 年間利用者は約9万人、1台あたりの利用者は時間帯によって異なり、満員の時もあるが、平均6〜7人程度である。

**問** タウンバスの年間利用者数及び1台あたりの利用者数は。

**答** 年間利用者は約9万人、1台あたりの利用者は時間帯によって異なり、満員の時もあるが、平均6〜7人程度である。



現在運行中のタウンバス

**問** タウンバス購入の財源の内訳は。  
**答** 100%防衛省の補助金。

## 反対討論

### 中型バスが必要か

刀根正幸議員

この議案は委員会でも継続審議を提案したが、否決となった。タウンバスは交通インフラの向上において、もろ手を挙げて賛成すべきだが、現行の利用状況が平均6名程度で、中型バスの必要性とあわせ運行表が現在検討中であり、中身が不明であることから、囲碁にたとえ「手順錯誤」と自治法の定める「最小の経費で最大の効果」を例に反対する。

# 行政報告

行政報告とは・・・

町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成28年9月から12月までの行政報告の一部を掲載しています。

## 出展 移住定住イベントへの

出展  
移住定住イベントへの

地方創生総合戦略で掲げている移住定住施策や町のプロモーション施策の推進のため、福岡や総務省管轄のふるさと回帰支援センター主催の移住定住イベントへの出展を通過し、今後も東京圏などで移住定住に向けた取り組みを推進したいと考えています。



九州山口移住地域おこし協力隊フェアの様子(H 28.11.13)

## 12月定例会意見が分かれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見が分かれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない議案は、満場一致で可決されました。 ○賛成、×反対を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	松上	松岡	今田	内海	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	横尾	小田			
芦屋町農業委員会の委員候補者選考委員会設置条例の制定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	議長	9	2	可決
農業協同組合法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定（農業委員会委員の定数に関する条例）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	10	1	可決
平成28年度芦屋町モーターボート競走事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長	10	1	可決
平成28年度芦屋町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	議長	9	2	可決
タウンバス中型車両購入契約の締結	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	10	1	可決

### 平成29年の抱負

町議会を代表いたしましたしまして、平成二十九年を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、年があけて既に一月余り経ちますが、益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。また、皆さま方には、日頃から町議会に対し、ご理解、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は熊本地震をはじめ火山の噴火など、自然災害が日本各地で発生しました。芦屋町においても小学校、自主防災組織、航空自衛隊芦屋基地などが参加して地震・津波防災訓練を実施しましたが、日頃からの防災対策や意識啓発が重要であると改めて認識しました。

地方自治体は、本格的な少子高齢化社会の到来による人口減少問題や、公共施設の老朽化対策、自然災害への対応など、直面する数多くの課題があります。町議会としましては、議員一人ひとりが議会の果たすべき役割を十分に認識し、審議能力、政策立案能力の強化に努めることにより、町議会の一層の活性化を図るとともに、行政との建設的な議論を重ねることにより、有効な政策の推進と課題解決に向けた努力をしてまいります。

私どもの任期も残すところ二年となりましたが、町勢発展と住民福祉の充実のため、微力ではありますが、誠心誠意取り組んでまいりますので、今後とも皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、どうかこの一年が、皆様にとって幸多く、実り豊かな年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年を迎えるの挨拶といたします。



芦屋町議会

議長 小田 武人

# 第1回 臨時会

## 一般職職員の給料月額及び勤勉手当、扶養手当の額を改定

第1回臨時会が平成29年1月20日に1日の会期で開催されました。一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定や、補正予算、教育委員会委員の選任同意の3議案が上程され、可決されました。

### 条例

**一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例**  
(満場一致・可決)

人事院勧告に伴い町職員の給与を改定

- ・給料 給料月額を平均で0・2%引き上げ
- ・勤勉手当 0・1月引き上げ
- ・扶養手当 配偶者に係る扶養手当を引き下げ、子どもに係る扶養手当を引き上げ

#### 質疑

**問** 扶養手当については職員にとってプラスとなるのか。

**答** 職員の扶養状況によって違いはある。配偶者のみの扶養はマイナスとなるが、配偶者1人子ども2人の扶養はプラスとなる。

**問** 民間給与との格差

とあるが、中小企業と比べると公務員の方が高いのでは。

### 正算 補予

**平成28年度一般会計補正予算(第4号)**  
(満場一致・可決)

歳入では地域介護・福祉空間整備推進交付金87万円や、財政調整基金繰入金188万円を増額措置しています。

また、歳出では給与改定に伴う給料等204万円や地域介護・福祉空間整備等

補助金87万円増額計上し、総額300万円の増額補正です。  
(満場一致・可決)

#### 質疑

**問** 給与などの改定に伴う必要額は。

**答** 総額で758万円、今回不足分の204万円を補正予算に計上している。

### 人事

教育委員の安高吉明氏の任期が平成29年1月29日で満了となるため、後任に井上弘行氏が選任されました。



業務中の職員

12月2、5日に議員8人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

◎：記事掲載あり      ○：記事掲載なし

ページ	質問議員	質問事項
9	川上 誠一	◎小規模事業者支援 ◎災害対策
10	松岡 泉	◎防災対策 ◎住民とともに進めるまちづくり
11	今田 勝正	◎芦屋中央病院の建設工事入札 ◎平成27年度決算 ○病院経営
12	貝掛 俊之	◎競艇事業
13	辻本 一夫	◎学力向上策
14	刀根 正幸	◎元気な芦屋町づくりに向けた取り組み
15	妹川 征男	◎西祇園橋架け替え計画 ◎職員の懲罰の手続き ○特別養護老人ホーム
16	田島 憲道	◎夏休みに起きた交通事故 ○地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の取り組みについて ○「さわら」をテーマとした地域ブランド化の取り組みについて ○野生鳥獣の現状と対策





かわ 川 かい 上 せい 誠 いち 一

# 町内業者への少額随意契約を50万円に引き上げられないか

財政課長

## 来年度からの拡大に向け検討を進めている

### 小規模事業者支援

**議員** 平成27年に福岡県中小企業振興条例が制定されたが、零細業者の支援のため町での振興条例の制定はできないのか。

**課長** 町内の中小企業者の実態、ニーズ等を十分把握し、条例化を検討したい。

**議員** 県内でも北九州市や飯塚市などが制定しており、町の工事発注や物品の調達には地元業者を優先的に仕事ができるようにしている。

**議員** 30万円未満の伝票工事は所管課長の決裁権限となっているが、上限額を50万円に引き上げられないか。

**課長** 伝票工事は入札や契約締結の事務が軽減されるメリットがある。対象金額については、業者からも課題があると聞いており、来年度からの拡大に向けて検討している。

**課長** 町では創業等促進事業や空き店舗活用事業、融資制度の見直しなどを行い、国、県、商工会との連携を図りながら商工業の活性化を進めていく。



工事中の町内業者

全課にわたって条例等を見直したい。

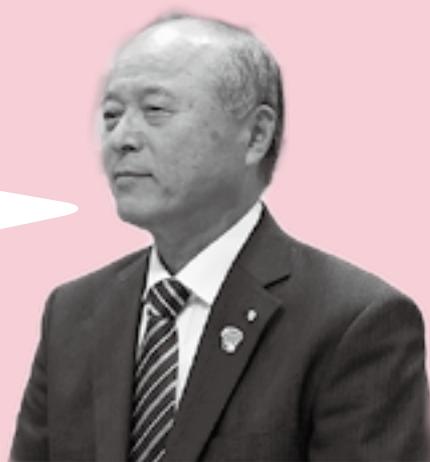
### 災害対策

**議員** 今秋の台風により避難準備情報が2回発令された。避難準備情報が出されればどう対応するのか決めているのか。

**課長** 高齢者や要介護者等、避難に時間がかかる人は周りに支援してもらい、避難を行うとなっている。

**議員** 支援を行う災害時要支援者支援体制は十分にできているのか。

**課長** 要介護者や独居の高齢者で支援を希望する方は、避難行動要支援者名簿に記載し、自治区などに提供している。しかし、全ての方の避難支援の体制までできていない。地域と行政が協働して個別計画を作っていく。



まつ松 おか岡 いずみ泉

## 11月2日に実施した地震・津波防災訓練の成果は

総務課長

### 避難所までのルート確認、所要時間の把握、行政間の連携ができた

#### 防災対策

**議員**

11月2日に内閣府と町が主催となった地震・津波防災訓練が実施された。訓練の実施成果はどうだったか。

**課長**

安全行動をとった後、避難行動を行い、避難所までのルートの確認や所要時間等が把握できた。芦屋小学校の避難行動では、芦屋基地の協力のもと有意義な避難行動が実施できた。山鹿小学校と芦屋東小学校では、想定時間内に屋上への避難行動を完了した。

また、災害本部の設置訓練では、関係機関との連携調整や県を經由しての支援要請等について、行政間の連携を図ることができた。今回、女性防火防災クラブ、航空自衛隊員による炊き出し訓練も行うことができた。



女性防災・防火クラブによる炊き出し訓練の様子

**議員**

以前の定例会で伺った自主防災組織防災マニュアルの作成は、どうなっているのか。

**課長**

避難訓練等を行った2地区では、防災マニュアルが作成されている。その他の地区では、自主防災組織と協議を行いながら、作成に向けての支援をしていきたい。

#### 住民ごともじ進めるまちづくり

**議員**

町と住民の協働のまちは、不適切さを感じるが、住民参画の手法による成果をどう捉えているか。

**課長**

住民アンケートや審議会、各種団体意見交換のほか、中学生アンケートや住民ワークショップ、住民説明会などの住民参画手法により、多くの意見を反映できたと考えている。

**議員**

自治区担当職員制度の運用は、効果が上がっているのか。

**課長**

区長さんから、好評の意見が寄せられるとともに、参加職員からも前向きな意見が報告されており、一定の成果が上がっていると考えている。



いま だ かつ まさ  
今 田 勝 正

## 約40億円の大型工事をなぜ わずか2社での入札なのか

財政課長

病院建設の実績を条件に公募した  
結果、申し込みが2社であった

### 入札 芦屋中央病院の建設工事

**議員** 約40億円もの大型工事をわずか2社の参加で入札を行っているが、どういうことか。

**課長** 病院建設という大規模で特殊な工事なので、過去に一定程度の病院建設の実績などを条件にして公募を行った。その結果、2社からの申し込みがあった。

**議員** 最低制限価格が90%と注<sup>2</sup>なっているがその根拠は。

**課長** ダンピング等による不当に安価な金額で受注することによって工事の品質が確保できなくなることを防止するため、地方自治法施行令に基づいて入札額の下限を設定している。かつては、予定価格の70%となっていた時期もあったが、公共工事の品質確保の促進



建設工事中新芦屋中央病院

に関する法律改正に伴い、近年は最低制限価格の率が引き上げられてきた。

町では平成26年8月から中央公共工事契約制度運用連絡協議会が作成したモデル算定方法を活用している。この方法で算定した結果、今回のケースでは90%となった。

※注2：ダンピング  
公正な競争を妨げるほど不当に安い価格で販売すること。

### 平成27年度決算

**議員** 広報あしや11月1日号で町債（借金）約11億円、公債費約13億円を差し引くと2億円の赤字と思うが、黒字との表記は正しくないのでは。

**課長** 歳入の町債は27年度に実施した投資的事業の財源として借り入れたもの。歳入の公債費は前年度までに借り入れた起債の返済額となるので、この数字を比較して赤字と黒字とかいうことはできない。よって、広報の決算額が黒字という表現に誤りはない。

**議員** ポートに頼らない自主的な財政運営はどうか考えているか。

**町長** 来年度の予算編成において、地方創生を初めとした重要施策の予算配分を重点化し、健全財政を行うため、既存事業の見直しなど徹底した経費削減に取り組んでいる。

## 競艇事業収益の町への繰出基準を設定すべきでは



かい かけ とし ゆき  
貝 掛 俊 之

町長

繰出基準を検討する段階にきていると考えている

### 競艇事業

議員

私はこれまで子育て支援の充実や教育環境の充実を訴えてきた。初当選した10年前と比較すると中学生までの医療費無料化、小中学校のエアコン設置等はるかに素晴らしい環境が整ってきている。これも財源があつてできることである。10年前の財政シミュレーションでは28年度は、競艇事業の繰出金がなければ町は基金(貯金)がなくなり財政破綻するといった状況だった。

現在は基金(貯金)が約43億円、実質の借金が12億円というところまで回復している。

特に大きな要因は22年度から競艇事業から町へ4〜6億円を繰り出していることである。

町にとって重要な競艇事業について、現状と課題、今後の方向性を尋ねる。

町長

競艇業界全体として27年度は8年ぶりに1兆

円台を回復した。ボートレース芦屋においても前年度比が電話投票で23%増加、協力場発売が33%増加しているが、本場の売上げが減少している。今後は30キ口圏内のファン獲得に力を入れていくことと、施設を競技施設ではなく、皆さんが多目的に集える施設へと変化させていく企画を練っている。

また、30年度からモーニングレース開催場が1場増えることによる売上減少も懸念されるが、22年度から28年度まで町へ約24億円繰り出している。この24億円の用途を明確に町民に示していきたい。

議員

10年前競艇事業の売上は150億に満たなかった、今は840億円まで売上を伸ばしており、町へ4〜6億円繰り出している。このような状況が今後続くとは限らない。現在は町の要求額をそのまま競艇事業は繰り出している

認識している。

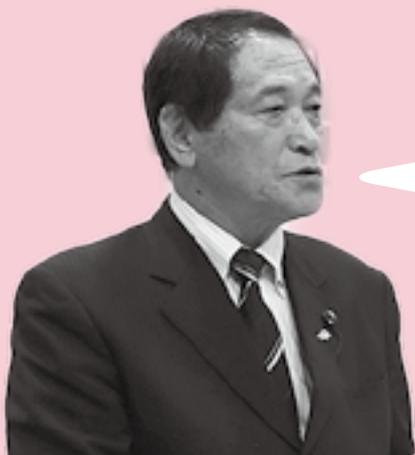
お互いに緊張感をもって事業運営、財政運営をしていくために売上げに乗じた繰出基準を設定していくべきではないか

町長

町も基金(貯金)、競艇事業も積立金があり、ある程度落ち着いており、繰出基準を設定する段階にきています。高すぎても低すぎても駄目であり、各場がどのような状態になっているのかを踏まえ、調査研究をしていかなければならない。



ボートレース芦屋



おと かつもと かつじ

# 学力向上への具体的な取り組みは、どのように進めるのか

## 学校教育課長

### 習熟度別指導の徹底や家庭学習習慣の定着等々に重点を置く

#### 学力向上策

##### 議員

小学6年生と中学3年生を対象にした「全国学力」テストが4月に実施された。芦屋町教育大綱では28年度から3力年で、全教科で全国平均を上回ることを目標にしているが、成績はどうだったか。

##### 課長

小学生では、全4科目で全国平均より下回り、中学生では、国語A、数学Aが全国平均より上回った。結果は前年同様、3教科で上向いただけである。

##### 議員

学力向上への具体的な取り組みは、どのように進めるのか。

##### 課長

学力向上検証委員会を開催し、検証した。習熟度別指導の徹底、テストや宿題のやり直しによる学力の定着、授業以外の時間活用によるプリント学習、家庭学習習慣の定着等に重点をおいて取り組む。



芦屋中学校の授業風景

##### 議員

先生方の役割に全力を注げる環境づくりは今の体制でいいのか。

##### 課長

現在の人数で一般的な授業の対応はできていると考えているが、それ以外の部分も十分な配置を目指していきたい。

##### 議員

芦屋町はエアコン設置など教育環境の整備に取り組んでいるが、夏休み期間の短縮について検討したか。

##### 教育長

話題には無かったが、そのような話はない。

##### 議員

平成27年度に「ICT教育の導入計画」が策定されたが、進捗状況はどうか。

##### 課長

平成29年度に県補助金を活用し、小・中学校に電子黒板を1台ずつ導入する。

##### 議員

学習指導要領が改正され、平成32年度から小学校5・6年生は英語科授業、3・4年生は外国語活動が行われることになっている。英語教育導入は、どのように考えているか。

##### 教育長

今から研究し、やる以上は一生涯努力する。しかし、授業時間や先生の免許の問題など課題が多い。

※注3：ICT教育

情報通信技術の利用・活用方法を教育の一環として取り入れた教育

とねまさゆき  
力根正幸

## 個人情報の提供をどのように考えているのか

総務課長

### 自主防災組織と協議の上、要望があれば要綱の制定を検討する

#### 元気な町づくりに向けた取り組み

**議員**

総合振興計画の後期計画は、各分野において取り組んでいるが、この中で大きな障害となっているのが、情報提供のあり方と自治区の未加入率が高いことである。

前回の松岡議員の一般質問でも個人情報の取り扱いについて自治体間で違いがあることがわかった。町の個人情報の提供をどのようにおこなっているのか。

**課長**

福祉課では2つの個人情報提供を行っている。一つは高齢者名簿を民生・児童委員に提供し、もう一つは同意を得た方のみ避難行動要支援者名簿を自主防災組織または自治区へ提供している。また、町の個人情報保護審査会に個人情報の取り扱いや、個人情報保護の研修等について審査してもらったうえで名簿の提供を行う

ている。平常時には名簿の提供により、高齢者などの見守り、急病の際の対応などに役立っていると聞く。今後も、毎年情報更新しながら名簿を提供していく。

**議員**

避難行動要支援者名簿は同意を得られた方のみで、一部は提供されていない。個人情報やその利用に関する制限はどのようになっているのか。

**課長**

個人情報条例の利用及び提供の制限については条例に規定されている。

**議員**

個人情報保護法に規定する「人の生命、健康生活又は財産を保護するため、緊急かつやむをえないと認められるとき」の内容について、古賀市では住民情報を防災組織に提供しているようだが、町でも考えられないか。

**課長**

古賀市では大規模災害発生時に、道路・電気・ガス・水道などライフラインが寸断され、公的な活動が著しく制限されるため、一人でも多くの生命と財産を守る目的で地域に提供されている。古賀市のように要綱を制定するかについては、情報を持つ住民課や情報提供を行う自主防災組織と十分に協議を行い、要望があれば検討していく。





いも かわ いく お  
妹 川 征 男

## 今回の進め方は議会軽視、町民置き去りの町行政だ

副町長

### 建設ができるようになった時点で報告する

#### 西祇園橋架け替え計画

議員

平成24年度より東町区公民館で祇園橋架け替え工事説明会を、また本年5月よりグレードアップのためワークショップを開催しているが、架け替えの要望書を最初に県に提出したのはいつか。

課長

平成22年1月に提出している。

議員

地域住民からは①住人が立ち退きにならないように検討すべき。②現在の橋よりも2.5メートル高くなり太鼓橋のようになる。勾配が大きく高齢者や自転車で通う人たちにとって大変である。③説明会をする前に地権者に話すべきではないか等々疑問の声がある。

現在、用地買収等は完了していないが、移転補償の金額や移転先が決まっていらない地権者の気持ちを考えれば、ワーク



現在の祇園橋

ワークショップは、用地買収完了後に進めるべきではなかったか。

課長

26年度にグレードアップを検討するという町の方針に基づいて行った。

議員

事業主体が県とはいえず行政区域は芦屋町。町が、情報を事前に議会に提示していれば町民の声を反映すべく県に対して意見を述べることができたはず。今回の進め方は議会軽視、町民置き去りの町行政と言わざるを得ない。

副町長

経過についての説明を全協（議会）で行っていない。建設ができるようになった時点で報告する。

#### 職員の懲罰の手続き

議員

平成21年と24年に懲罰を受けた2人の職員がいた。現福祉課長は裁判所に捏造した虚偽の報告書を提出。また町民や議員を威圧するなど、さきの2人の被処分者とは比べものにならないほど悪質極まりない言動である。懲罰の手続きについては教育長が委員長と聞くが、福祉課長に対して事情聴取を行ったか。

教育長

また町長の6月議会での私の妻のうわさ発言は、個人情報保護法や地方公務員法の秘密を守る義務違反である。公務上知り得た情報を漏れいした町長に対して、事情聴取を行ったか。そういう事はしていない。



た じ ま けん どう  
田 島 憲 道

## 小学生が関係した交通事故をどのように認識しているのか

環境住宅課長

見通しの悪い場所なので、何らかの対応は必要と認識している

### 夏休みに起きた交通事故

**議員** 全国的にも、無謀な運転により、通学児童が犠牲になる大変痛ましい事故が多発している。

芦屋町でも、さまざまな交通事故防止対策を実施しているにも関わらず、夏休みにラジオ体操を終えた小学生のグループが栗屋公民館前の横断歩道を歩行中、居眠り運転の車が児童に突っ込むという事故が発生した。町ではこの事故をどのように認識しているのか。

**課長** 事故現場付近の国道495号線は、押しボタン式の黄色点滅信号が連続して4基設置されており、S字カーブで見通しが悪い場所だ。この事故は、交通安全推進協議会でも議題となり、秋の安全運動期間中に早朝街頭指導を行った。黄色点滅信号を通過する車両の多くは、速度を落とさず進入してくる。今回は運転者

の前方不注意だが、大事故にもつながる恐れがあった。何らかの対応は必要と認識している。

**議員** これは奇跡と言いたい。大変な事故になってい

たかもしれない。この小学1年の女の子は、4週間程入院し、夏休みを棒に振った。大変明るい子で今は元気に登校しているが、いまだに怖がっている子どももいる。今後も心のケア等の見守りも続けてもらいたい。

この事故現場は、今まで区長やPTAから要望が出ているが、その対処及び進捗状況は。

**課長** 要望事項は、①点滅信号機を半感応式への変更。②路面に、減速マーク等の表示と危険区域のカラー舗装及びランブルストリップスの設置。③スマートフォン等を利用しながらの運転者への交通指導等が上げられた。

要望を受け、折尾警察署に確認した所、①は道路上が交差し、

十分な道幅があり、なおかつ交差した道路の交通量が今以上に多くなれば設置できるといふこと。②は県土木整備事務所に要望を上げており、今年度中に対処すること。③は折尾警察署への指導の徹底をお願いし、町としても広報やホームページ等で周知徹底を図りたい。

※注4：ランブルストリップス運転者への注意喚起、速度の抑制を目的に、道路の中央等に波状面をつくり、通過する際に音と振動を与える交通事故対策。



交通事故が起きた栗屋の横断歩道の付近

**住民目線で読みやすい  
内容に**

～鳥取県 大山町～

議会広報常任委員会  
日程

11月8日から10日

視察先

鳥取県 大山町  
京都府 精華町

**大山町**

大山町議会だよりは

住民目線で読みやすい紙面づくりや行政広報と違う情報や議会からのお知らせページを設けるなどの工夫をし、全国議会広報コンクールで毎年上位に入賞しています。議会の情報誌となるよう内容を簡潔に早期に発行し、さらに詳しく知りたい人へは議会ウェブサイト

(録画中継)へ誘導しています。

芦屋町議会でも現在議会中継実施に向けて検討しているので、広報誌との連動は参考にしたいと思いました。

**精華町**

精華町議会

だよりの特色は、1年前の一般質問からピックアップしたものを追跡記事として掲載し、行政の進行管理を行っていただきます。また、決算と予算を関

連づけ、1年を通して読んでもらう工夫や委員会の活動ページを設けるなど、委員一人ひとりが議会の広報マンとして情熱をもち、議会広報を作成していると感じました。

芦屋町議会も文字の削減や追跡記事、読者の声の反映など今後取り組むべき課題が認識できました。



大山町視察 (H 28.11.8)

12月定例会

臨時会

一般質問

委員会視察

**ネット環境を整えICT教育を推進**

～岡山県 新見市～

民生文教常任委員会  
日程

11月16日から17日

視察先

岡山県 新見市  
広島県 安芸高田市

**新見市**

新見市は教育目標に「故郷を愛し、世界で活躍する子どもの育成」を掲げ、ALT12人による小1からの英語教育の実施、中学校ではタブレット端末を

持ち帰り、家庭でICTを活用した反転学習の取り組みなどを行っています。

このICTの活用は平成19年に光ファイバーを敷設し、市内全域でインターネットが利用できる環境を整備している土台があるからです。



新見市研修 (H 28.11.17)

助事業のため、4中学校で1億5千万円を支出しています。

芦屋町ではインターネットの利用の環境が整っていないため新見市のような運用を実施するには相当の期間や費用が必要なこと、技術の習得やサポート体制の整備が必要と感じました。

※他に安芸高田市で協働の町づくりについて視察しました。

## 町かどインタビュー

波懸けはまゆう太鼓クラブは、小中高生で構成され、毎週土曜日の15時30分から山鹿公民館で練習をしています。人権まつりや子育てプラザ小倉での力強い演奏で、お客さんを魅了していました。太鼓クラブに所属している親子の方に芦屋町の魅力についてお話を伺いました。

**Q** 町外から引越して来られたそうです。が、芦屋町の魅力は？

なので続けてほしいです。

**Q** はまゆう太鼓を習ったきっかけは？

になります。その流れで妹もチームに加わります。盟して丸7年になります。

**Q** 町に望むことはありますか？

太鼓は高校生から小学生まで全員で音を合わせるのが難しいけれど、イベントでさまざまな場所に行ったり、たくさんの人とふれあえると思います。

**A** (親) 空気がいしく、子ども医療費の補助があるなど子育てしやすい町です。

**A** (子) 「夏休み和太鼓教室」参加募集の広報あしやを見て、母が申し込んだことがきっかけです。和太鼓歴は11年

**A** (親) 遠賀川駅方面の公共交通機関や、介護福祉サービスの充実を図ってほしいです。



はまゆう太鼓を習っている  
清水まいさん(小6)・清水海生さん(高3)(山鹿丸の内)



人権まつりでの演奏 (H 28.12.10)

## 次回の定例会は 3月6日開会予定

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合がありますので、傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。  
(TEL 223-3579)

## 議会事務局 職員の人事異動

平成29年1月1日付で、志村が会計係長として異動し、新しく中山が異動してきました。



左から中野係長、池上局長、中山(書記)、吉住(事務員)

## 議員控室

異動で議会事務局を離れることになり、今回議員控室を任せてもらうことになりました。広報委員会の発足から議会だよりを担当させていただき、委員の皆さんと試行錯誤しながら編集してきました。

編集するうえで、議会での審議の様子がわかるように作る努力をしていますが、客観的に見るとわかりにくいことが多々あります。

これからは広報編集者OBとして、読者の視点で議会だよりに見えようと思えます(笑)。その意見が議会だよりをよみ読みやすいものになりますので、住民の皆さんも積極的に改善点を指摘してください。

志村 裕子

### 【発行責任者】

議長 小田 武人

### 【議会広報常任委員会】

委員長 川上 誠一

副委員長 内海 猛年

委員 田島 憲道

委員 貝掛 俊之

委員 今田 勝正

委員 松岡 泉